

事務事業評価 & 総合計画実施計画調査シート

コード	名称		区分	コード	名称	
事業名	まちづくりシンポジウム開催事業		会計			
基本	29	伊賀市らしい景観を守り、活かす	款			
策	1	景観保全意識の高揚	項			
			目			
			細目			
			細々目			
基本計画該当頁			120		行革大綱の重点事項番号	
担当部課	コード	040100	評価者	森本一生	連絡先	22 - 9620 (内線) 2111
	名称	企画調整課	氏名			

事業の計画・内容

事業目的	対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
	中心市街地在住の市民 (対象件数)	シンポジウムに参加した市民が、自分たちのまちのあり方について考えてくれる。
根拠法令・要綱等 中心市街地活性化基本計画、景観計画		
開始年度	平成 20 年度	関連事業
終了年度	平成 20 年度	
本年度事業内容	まちづくりシンポジウムの開催。 基調講演 神戸学院大学経済学部 高島 博 教授 パネルディスカッション コーディネーター 神戸学院大学経済学部 高島 博 教授 パネラー 市長ほか	状況変化等 平成19年度中に中心市街地活性化基本計画及び景観計画が策定される予定であり、市民が主体となったまちづくりが喫緊の課題となっている。 藤堂高虎の開府400年を迎える平成20年にこの事業を開催することで、中心市街地のまちづくりを市民が主体的に考える契機の一つにしたい。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

進捗状況	年度	平成17年度 決算内容			平成18年度 決算内容			平成19年度 計画内容			平成20年度 計画内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			
		事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位	金額	事業内容	数量	単位
委託	事業内容																			
工事	事業内容																			
進捗率 (%)		事業費計(A)			0			事業費計(A)			0			事業費計(A)			0			
事業投入人員		人件費(B)	人	0	人件費(B)	人	0	人件費(B)	人	0	人件費(B)	0.5	人	3,600	人件費(B)	人	0	人件費(B)	人	0
フルコスト (A) + (B)		0			0			0			5,500			0			0			

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	0	0	0	1,900	0	0
Aの財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	受益者負担					
	その他				950	
一般財源	0	0	0	950	0	0
計	0	0	0	1,900	0	0
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率			活力ある地域づくり支援事業助成金 1/2((財)地域活性化センター)		
	地方債の区分と充当率等					

事業種別	新規	単独	事業類型	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H17	H18	H19	H20
シンポジウム参加人数	人	目標 実績	目標 実績		150
		目標 実績	目標 実績		
		目標 実績	目標 実績		

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H17	H18	H19	H20
まちづくりに主体的に取り組む市民の割合	シンポジウム参加者にアンケート調査を行う。	%	目標 実績	目標 実績		70
			目標 実績	目標 実績		

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	中心市街地の魅力あるまちづくりのため、商工業者や居住する市民の主体的な取組みが望まれるが、行政がまずそのきっかけをつくる必要がある。
有効性	3	今後のまちおこしのために、先賢者の偉業の大きな節目の年を捉えて中心市街地内外に発信できる機会となり、商工業者や居住する市民の主体的な取組みが促進される。
達成度		
効率性	3	会場の選定により経費削減の余地がある。なお、まちづくり会社に事業委託できれば中小機構から講師料等の補助制度を活用できるため費用の削減が可能である。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A		